



おがさわら

# 議会だより

第 132 号



小学 1 年生 入学おめでとうございます ～ 小笠原小学校入学式

議案審議	2
予算特別委員会	4
一般質問	7
委員会報告	10
編集後記	12



今号の議会だよりは、  
改選前の 3 月定例会  
での審議についてお  
届けします。

スマートフォンから見やすい  
デジタル版議会だよりはこちらから  
<http://www.gijiroku.jp/ogasawara/>

## ●平成30年度小笠原村一般会計ほか補正予算を可決

✓ 渇水対策のために（父島）	4,632万6,000円
✓ 渇水対策のために（母島）	471万2,000円
✓ 海浜公園予定地の購入のために	5,000万円
✓ 土石等仮置場の土石敷均し作業のために	1,075万6,000円
	など

## ●職員の勤務時間等に関する条例を改正

働き方改革に関する法律の制定に伴い、超過勤務の上限時間等を村規則で定めるため、条例文を改正します。

## ●母島村民会館の指定管理者を指定

指定管理者	…	社会福祉法人小笠原村社会福祉協議会
指定の期間	…	平成31年4月1日から3年間
施設管理費（予定）	…	3年間合計 2,612万1,841円

## ●農業委員会委員の選任を同意

次の8名を、小笠原村農業委員会委員に選任することに同意しました。  
早川 保氏、森本かおり氏、稲垣 勇氏、藤谷明憲氏、小松武人氏、  
濱崎泰宏氏、辻井麻里子氏、小田川明子氏

## 令和元年 第2回定例会会議日程表（予定）

月 日	開始時間	会議名	内容
6月19日（水）	午前10時	本会議	会期の決定、一般質問等
6月20日（木）	午前10時	総務委員会	
	午後2時	本会議	議案審議

本会議、各委員会は傍聴できます。開会5分前まで傍聴受付を行っています。  
またテレビ11チャンネル、小笠原村公式サイト内ライブ配信システムで中継放送を行っています。ぜひご覧ください。

## ● 辺地にかかる公共的施設の総合整備計画（29～31年度）を策定

賛成多数で可決しました。

**賛成** 稲垣、杉田、鯉江、安藤、清水    **反対** 一木

辺地とは、ほかの地域と比べ交通条件や自然的条件などが厳しい地域を指します。こうした各条件による地域間格差を是正するため、総合整備計画を定めた市町村に対して、辺地対策事業債<sup>※</sup>により国からの財政支援がおこなわれます。くわしい整備計画の内容は、本定例会会議録巻末資料で見ることができます。

### ※ 辺地対策事業債とは

総合整備計画に掲載されている事業に対して起債（＝資金の借り入れのこと）でき、元利償還金（＝返済するお金のこと）の80%が普通交付税として国から交付される、とても有利な地方債です。

**問** 今回の整備計画のうち、父島の観光施設の整備について、約714万円で扇浦第2原水調整池の上に公園をつくるための設計委託をするとのことだが、地元の観光事業者からの要望などは反映しているのか。たとえば村民農園や温泉施設などといった、他の使い方があるのでは。（一木）

**答** 原水調整池を半地下、またはほぼ地下で作り、その上の空いたスペースの使い方を考えた際に、扇浦地区にはまとまった広さの公園が無いため、今回計画した。芝を張った園地を整備する。その計画策定後、住民説明会を複数回開催し、村民の皆様のご意見を踏まえ整備に至ったという経過を経ている。  
（総務課企画政策室長）

★このほかの議案などの審議結果は、小笠原村ホームページをご覧ください。

村長から平成31年度の予算案が提出されたことを受け、村議会では予算特別委員会を設置し、2日間にわたり皆様から納めていただく税金の使い道を審査しました。その結果、賛成多数ですべての予算案が提案どおり可決されました。

## 主な予算の使いみち

小笠原航路代替船建造費補助に	1億円
診療所の運営に	4億8691万円
村道の維持・整備に	2億5813万円
第2原水調整池整備工事（その3）	3327万円

## 歳入

### 基地交付金

国有提供施設等所在市町村助成交付金  
（国有財産のうち、自衛隊、米軍が使用している施設に対するの交付金）

▶6567万9000円

### 施設等所在市町村調整交付金

（米軍が建設、設置した建物及び工作物に対するの交付金）

▶3933万8000円

**問** 硫黄島関連の交付金については、今後どのような見込みをしているか。（一木）

**答** 基地交付金は、国予算のトータルの枠を基地所在市町村で分けあう。ここ数年小笠原村の交付額は落ち込み傾向だが、新規の整備が無いこと、ほかの地域で整備が行われているところが多いからと考えている。（財政課長）

**答** 基地の増強、拡幅を望んでいない。そのため新規施設ができなければ、交付金の増額は難しいだろう。（村長）

## 歳出

### 村営バス運営経費▶2467万1000円

**問** 地球温暖化対策、島内の交通システムのビジョンはあるか。（清水）

**答** 温暖化対策については、今経済状況も良く、人口も増えているので車が増えているのは事実だが、現在の環境基準にのっとった自動車が大多数と考える。ビジョンは、総合的なところで考えていかなければならない。（村長）

**問** 経費のうち、委託料が1800万円。一方バスの運賃収入が324万円の計上。運賃を無料にする考えは。（清水）

**答** 考えていない。（産業観光課長）

### 保育所費▶1億2414万円

**問** 10月から父島の保育園は無償化になるとのこと。母島はどうなるのか。（清水）

**答** 母島保育所は認可外のため、保育料無償化の対象外。10月までに検討したい。（村民課長）

### 英会話指導事業費▶1100万円

**問** 新しい事業者に変更の理由は。  
(清水)

**答** 学校内での授業以外の教育活動でも、より有効に外国人指導助手を活用したいと考えている。その希望に沿う提案のあった事業者との契約を予定している。(教育課長)

### 自然環境保全対策費▶2805万8000円

**問** ペット条例の施行にあたり予算確保のために、入島税や環境協力金の導入が必要との意見があるが、考えはあるか。(一木)

**答** まずは条例制定、運用をしっかりと行い、世界自然遺産関連事業にかかる財源確保とは切り離して進めていく。入島税等については庁内で議論していきたい。(環境課長)

### 清瀬職住11号棟（看護師宿舎） 建築工事▶1億2105万円

**問** 職員のための住宅はもちろん必要だ。村民のための公営住宅についての考えは。(一木)

**答** サービスを充実するため職員を増やし、そのための住宅と、村民のための公営住宅は切り離して考えるべき問題。総合的に勘案し住宅政策を立てていく。(村長)

### 健康診断事業費▶3530万7000円

**問** がん検診をより充実しては。最近では血液検査でかたんに検査ができるようだ。(一木)

**答** 提案いただいたものについて、調査研究し、活用できるものはしていきたい。(村長)

### シロアリ対策費▶3821万2000円

**問** 母島にはシロアリを持ち込まない。しかし入ってしまったために根絶を必ずすると村は言っている。これに間違いはないか。この問題を最重要課題として取り組んでいただきたい。(稲垣)

**答** 根絶を目標に20年間やってきたが、なかなか根絶できず、徐々に増えてきた。今後、状況を確認しながらしっかりと政策を打って出なければいけないと認識をしている。(建設水道課長)

**答** 対策を打っても、なかなか考えどおりにはならない、人知を超えたところにある。まず根絶を目指すという方向性を持ちながら対策を打っていくのは当然だが、もし居住地に入ってしまったらという、その想定もしながら早い手を打っていきたい。(村長)

## 渇水対策▶7231万円

**問** 対策費として何か月分の計算か。

(清水)

**答** 3か月分、6月までの経費を計上している。海水淡水化装置のリースはひと月ごとの契約になっているので、早くに雨が降ればその分リース期間も短くなる。(建設水道課副参事)

**問** 30年度予算とあわせて渇水対策に約1億5000万円。半分は国からの交付税で戻ってくるという理解だが、東京都からの支援はあるか。

(一木)

**答** 東京都には新たな海水淡水化装置等、支援体制を組んでいただいている。色々な形で支援を要望していきたい。(村長)

## 採決の結果

**賛成** 稲垣、杉田、鯉江、安藤、清水

**反対** 一木

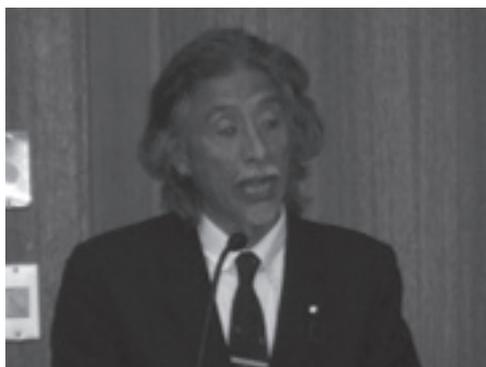
### 反対意見（一木）

「明るく元気で心豊かに暮らせる村づくり」という、村長の政治理念にはとても共感するが、航空路、硫黄島問題、教育、行財政改革などの政策において、ビジョンや政治手法に疑問を感じており、抜本的にこの予算案を見直す必要がある。そのため関連する多くの事業等の予算案は認められない。

## 平成31年度予算特別委員会 委員長報告（意見抜粋）

- ①適正に**組織改革**を進め、村民生活の安心・安全を保全する責任ある対応を。
- ②自助努力で島の環境を守るため、**ふるさと納税**、**入島税**など新たな財源確保の可能性を模索されたい。
- ③契約不調は、当村にとって重要な問題。**入札方法を検討**し、着実な予算執行を進められたい。
- ④老朽化した各**施設の補修と更新**は、防災の観点からも重要な課題。優先順位を見きわめ、適切な手立てを確実に講じられたい。
- ⑤旧島民の墓参、平和教育など**硫黄島**の特殊事情を抱えて実施してきた訪島事業を速やかに復活させ、また**小笠原村平和都市宣言**を内外に向け発信し、世界平和貢献を推進されたい。

## 清水良一議員



### 住宅政策について

**清水議員** ①村長の考えは。②住宅の形態別世帯数は。③建てかえ計画では、都営小笠原住宅は戸数増となるか。④宅地分譲事業の具体的計画は。⑤目標数は。⑥分譲用地確保の方法は。⑦所有者不明土地新法は活用できるか。⑧分譲マンションも一案では。⑨島民の意識調査は。⑩総合的な土地利用のデザインを。⑪今後の住宅政策は。

**村長** ①住まいのあり方を検討しつつ取り組む。⑪新たな土地利用計画を検討していく。

**総務課企画政策室長** ②都営小笠原住宅 393戸、戸建て 245戸、民間アパート 261戸、官舎等 372戸、その他 72戸の計 1,343戸。③現状維持。④今後検討。⑤まず見込みをつかむ。⑥様々な角度で考える。⑦難しいが注視する。⑧将来課題の一つ。⑨検討する。⑩土地利用計画の必要性は認識している。

### インバウンド対策について

**清水議員** ①具体的な受入環境整備推進策は。②電子決済端末導入率と補助利用件数は。③無料Wi-Fiの状況は。④飲食店のWi-Fi導入が低調だ。料金の差の影響では。⑤バイリンガルの臨時職員配置検討を。⑥村長の考えは。

**村長** ⑥考え得ることを整理し、事業者を意識改革を促す。

**産業観光課長** ①電子決済端末購入の補助を継続。国の補助金の情報も提供。父島の観光協会は外国人観光客の満足度向上事業を予定。②父島 33%、母島 31%、利用件数 2件。③宿泊施設の導入率は父島 89%、母島 77%。B-シップにも設置予定。④補助制度を周知。個人と法人との料金差は事実。⑤できることから対応。

## 安藤重行議員



### 教育行政について

**安藤議員** ①肢体不自由学級ではなく知的障害学級開設の理由は。なぜ専門職の指導員を確保しなかったのか。②母島の特別支援教育再開準備は。③児童の現状確認は。④学校は自主的に対応したのか。⑤専門職確保ができない理由は。⑥福祉との連携につき合う。⑦組織の透明化は。⑧事業推進のための取組は。⑨福祉の立場からの現状は。

**教育長** ④校内体制の運用は学校長が判断。⑤担任が専門職指導員に該当。⑥教育と福祉は緊密に連携。一層の連携をとる意見と受け止める。⑦教育委員会の会議は傍聴可能。⑧村民の声を把握する仕組みを検討。

**教育課長** ①担任に加え補助員を配置。②学校の要望は対応済。その他も早期に対応。階段昇降機は予算成立後調整。⑦毎年議長に報告書を提出。

**村民課長** ⑨協議の場を明確化。地域支援体制を整備する。

### 住宅政策について

**安藤議員** ①都営住宅建替の順位に変化は。②奥村都住補修の進展は。③医師・歯科医師住宅が使用料ゼロの理由は。④住宅手当は給与に含むのか。⑤使用料の基準は。

**総務課企画政策室長** ①変化なし。母島は地盤調査や予備設計、父島は現状把握や事前検討を実施。②対応を求める。

**財政課長** ③住宅提供が勤務条件。④含まない。⑤平米当たり鉄筋コンクリート月 350円、鉄骨 300円、軽量鉄骨・木造 250円、経過年数での減額は木造年 24分の1、非木造年 60分の1、限度は 100分の80。

## 杉田一男議員



### 所信について

**杉田議員** 村長選出馬の意向は。村政運営の総括と今後の課題、手がけたいことを伺う。

**村長** 初当選時は、一日も早く安定した村政運営ができるよう日々心がけた。平成17年のTSL就航断念を受け、経済の活性化を第一に、「一步一步着実に、一つ一つ堅実に、そして何より誠実に」をモットーに村政運営に努めてきた。現在は経済が活性化し、活力ある村になってきたと思う。「心豊かに暮らし続けられる島」の実現へ、次世代にバトンを渡すために村長選に出馬し、引き続き村政を担いたい。

### 総括質問

**杉田議員** ①航空路開設に向けた感触は。②総力を結集する覚悟が必要だ。③漁網改修事業の継続を。④海ごみ対策は。⑤硫黄島の遺骨収集の取組は。⑥硫黄島旧島民についてきちんと取りまとめては。⑦慢性疾病患者等の村独自の運賃補助の利用状況は。⑧病気で乗船する際、船室は個室の確保はできないか。

**村長** ①ようやく本格的な動きになってきた。議会と要望してきた道筋の結論を得るべく努力する。③父母両島の漁協と協力して事業継続を要望する。④国や都、関係団体と連携し対策を推進する。⑤ご遺骨の帰還に向け努力する。⑥総務課で管理している。

**総務課企画政策室長** ②何としてでも成案に導きたい。

**村民課長** ⑦29年度78回、200万円、30年度の見込みは約90回、250万円。急患搬送時の島嶼会館10泊分の一部助成も含む。⑧現在も確保しているが部屋数には限りがある。席の対象範囲拡大を検討する。

## 稲垣勇議員



### シロアリの現状について

**稲垣議員** ①母島の現状と今後の対応を伺う。②木造住宅は大丈夫か。③国や都に助言や協力を仰ぐべきだ。④母島の住宅の防蟻処理を全額補助してほしい。⑤昨年までは母島からは撲滅を目指すという答弁だった。村長の考えは。⑥補助体制を組んでほしい。

**建設水道課長** ①北部域は生息密度の上昇を懸念。蝙蝠谷は新たな小集団の存在が確実。集落周辺の工事等による伐採木などの南部域への移動制限を周知徹底。②公有地の木材等の撤去、事業者や一般の方への注意喚起を実施。都営小笠原住宅や職員住宅は防蟻処理の施工を促進。個人には家屋無料点検を紹介し防蟻処理の必要性や奨励金活用を案内。③引き続き強く協力を要請。④動向を確認し今後検討する。

**村長** ⑤新手法を試みる。より効率的な探査・駆除方法を検討し、関係機関に粘り強く協力を要請する。⑥担当課と経過を見きわめて検討する。

### 渇水対策について

**稲垣議員** ①母島への貯水槽整備について見解は。②村長の意向はどうか

**産業観光課長** ①常時不足している玉川水系の農業用水確保対策として都に要望したい。

**村長** ②まずは実務者同士の率直な意見交換を行い、都と相談し議会とともに取り組む。

### ははじま丸の増便について

**稲垣議員** ①村として要望するべき。②試行期間の延長を。

**村長** ①有効性・必要性は認識。増便継続へ伊豆諸島開発と連携・協力したい。②伊豆諸島開発と交渉していきたい。

## 一木重夫議員



### 特別職の報酬について

**一木議員** ①前はいつ、どのような手続で改正したのか。②議員間の議論で適正な議員報酬を決め、村長の報酬は議会側が提案するのはどうか。

**村長** ①平成6年、小笠原村特別職報酬等審議会の答申後、議会に諮った。②全員協議会で意見交換し収れんさせるのが望ましいのではないかと。

### 先住欧米系島民の歴史文化について

**一木議員** ①村長の認識は。②最初の移住日は。③移住と返還を振り返る日にしては。

**村長** ①小笠原の歴史文化そのものだ。互助

と連帯感の醸成に向けた礎になっている。③そのような歴史を知らない方も多く、6月26日の返還記念祭は大変意味がある。

**総務課長** ②1830年6月26日。

### 村長4期目4年間の反省点・課題について

**一木議員** ①反省点、課題は。②硫黄島の米軍基地返還を求めるか。③特別賃借権へのアプローチは。④航空路にどう取り組むか。いつまで待てばいいのか。⑤2年前に視察した天草市では、県がお金を出せないのなら市だけでやる、という意気込みだった。天草市長の思いをどう感じたか。⑥村だけでもやるという意気込みを。

**村長** ①体調を崩し迷惑をかけた。体調管理に留意し公務を遂行。今後4年間の課題は航空路や子供達の環境整備、返還後も残る諸案件の整理等。②庁内で議論し、協議したい。③解決の道を模索する。④計画案の早期策定へ運動する。一日も早く成案を得るべく動くしかない。⑤大変参考になった。⑥これまでの信頼関係を壊すことなくやりたい。

## 池田 望議長出張報告



出張日	出張先、会議名	出張の用務
2月14日	田中電気株式会社	大型家電等の配送について、情報・意見交換 (同行者 議員5名)
	松原仁衆議院議員	村政課題等について情報・意見交換 (同行者 議員6名)
	東京都島嶼町村会・島嶼町村議会議長会合同会議他	会議出席
2月15日	丸川珠代参議院議員、石原宏高衆議院議員、山口那津男参議院議員	村政課題等について情報・意見交換 (同行者 議員6名)
	東京都町村議会議長会役員会、定期総会	会議出席
2月18日	国土交通省、独立行政法人水資源機構、環境省関東地方環境事務所、防衛省北関東防衛局	村政課題等について情報・意見交換 (同行者 議員6名)
2月19日	東京都、東京都議会議長及び副議長、東京都議会各会派	村政課題等について情報・意見交換 (同行者 議員6名)

## 小笠原諸島世界自然遺産

執行部から地域連絡会議など、関連する会議についての報告、保全対策の状況について説明を受けました。

1月28日に開催された地域連絡会議<sup>\*</sup>のなかで出た主な意見

- ①オガサワラグワの保全、植栽⇒村民の関心が非常に高い。事業の方向性や目標を伝える場がほしい。
- ②希少植物保護⇒干ばつ等による絶滅の危険を減らすために域外保全を進めては。
- ③ネズミ対策⇒駆除数などを広報することで、村民の関心が深まるのでは。農地での駆除対策には生産者の負担が一定額ある。また、ネズミ被害によって栽培できなくなった作物もある。引き続き補助の検討を。
- ④愛玩動物⇒ペットには情操教育、伴侶動物といった点でも良い面がある。人とペットと野生動物の共生を掲げるのであれば、ペットを飼えない小笠原にはなっほしくない。

など。

### ※地域連絡会議

国、東京都、村が共同で事務局となり、地元関係団体等で構成。小笠原諸島世界自然遺産地域の保全・管理のため、管理計画の推進等について検討を進めています。会議の詳しい内容は、小笠原村ホームページ→環境課→自然情報センター→会議の結果よりご覧になれます。



ノヤギの皮の利用方法やジビエカーの研究等、民間で動きがある。駆除したノヤギは埋却しか認められないとのことだが、現状を打破するアイデアはあるか。(清水)



村、東京都、国の方針は全島駆除。以前から食肉、皮革の利用は提案があるが、実施するには法令上様々な施設をつくる必要がある。民間の方が産業として、飼育したヤギを利活用することに村が歯止めをかけることはできないが、現在はノヤギの全島駆除に向かっていきたい。(副村長)



シロアリ対策について、母島のシロアリは根絶を目標としているとのことだが、予防的に集落内の家屋の土壌処理や薬剤散布をやったらどうか。(安藤)



今後動向を見て、危険と判断した際はそのような方法も取るよう庁内でも調整している。(建設水道課長)

硫黄島での訓練や遺骨収容事業について執行部から報告がありました。

## 遺骨収集事業

**問** ご遺骨の収容数が随分増えたようだ（29年度17柱→30年度42柱）。その要因は。（杉田委員長）

**答** 今回の事業には専門家が参加しており、ご遺骨の数え方が変わったようだ。（村長）

## 訪問事業

事業再開を目指して実施している、硫黄島のブイに新おがさわら丸を係留しても安全性が保てるかの確認調査について、その進捗状況の報告がありました。また、今年度の訪問事業の実施時期は11月上旬になるとの説明がありました。



### 【理由】

- ・ 現在硫黄島も湧水が進んでいること。
- ・ 新おがさわら丸になって初めての訪島事業となるため、十分な調整、準備期間を確保したうえでの実施が望ましい。

# 小笠原航空路開設推進特別委員会 3月12日

12月定例会以降の航空路開設に関する動きについて報告がありました。

## 国・東京都の動き（東京都の動き）

- ▶ 航空路調査費は平成31年度予算に4億9000万円（前年度比+3.7億円）を計上。
- ▶ 「国と東京都の実務者協議会」の設置、会議が開催。

協議会の概要 … 国と連携が必要な東京都の重要な施策について、国と東京都の実務者による協議を行う場として設置。協議事項に掲げられた施策のうち、「小笠原航空路の整備促進」が重点事項に入っています。

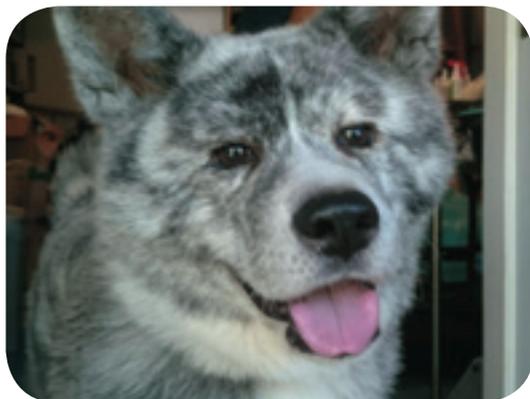
会議での発言内容など詳しく知りたい時は、会議録をご覧ください。

- 村役場議会事務局
- 地域福祉センター図書室
- 母島支所
- 母島図書室

で閲覧できます。

パソコンやスマートフォンなどで見ることもできます。

小笠原村公式サイト→議会事務局→会議録で 検索



会議録も読んでみてね！  
3月の定例会は、予算の会議が  
キモみたいよ～♪

## 編集後記

議会だよりの編集委員を二期連続12年間務めてきました。今期で編集委員を引退します。住民の代表たる村議会が、住民の立場で議会の仕事をより分かりやすく、興味が湧くよう伝える事が編集委員の仕事。字を大きくしたり、小難しい内容を思い切って削減してみたり、カラーにする等して、議会だよりの改革を進めてきました。

全国の各地方議会にも議会広報の編集委員がいます。初当選組の中から若手の議員が編集委員を務めるのが慣例。任期は長くても二期8年間が通例。三期12年間するのは異例です。編集委員を長く務める事ができたため、議会だより改革を進められました。一方、若手の議員が12年間入ってこず、編集委員をバトンタッチできなかったのはとても残念です。

今回の村議会議員選挙は無投票になりました。最年少は50才、平均年齢は67才。住民の代表たる地方議会は民主主義の根幹を担っていますが、担い手不足の問題は小笠原にも押し寄せています。この問題に直面する全国の町村議会では、住民、議会、首長が三位一体となって、「住民の政治参加」や「議員報酬・政治活動費」等の課題に取り組んでいます。議会だよりは「住民の政治参加」に大きな役割を担っています。新しい編集委員が、より良い議会だよりにしてくれることを願っています。12年間、ありがとうございました。  
(一木重夫)

★議会だより編集委員 一木重夫 安藤重行★